

「福井元気宣言」予算編成への県民参加の結果について

募集期間 8月24日(日)～9月2日(火) 10日間

応募手段 Eメール 9通
 ファックス 6通
 手紙 通
 持参 7通
 合計 22通

元気宣言の 項目	公表した 事業数	寄せられたご意見	
		件数	主な項目
元気な産業			
元気な社会	1	17	知的障害者グループホーム支援事業(17)
元気な県土			
元気な県政	4	5	土砂災害防止支援システム整備事業(3) 地域の治安対策(2)
その他			
計	5	22	

「福井元気宣言」予算への県民の皆さまのご意見について（要旨と対応）

項 目	担当部局	県民の皆さまからのご意見（要旨）	知事から県民の皆さまへ	最終予算額
<p>生き生きやさしい 福井づくり</p>	<p>福祉環境部</p>	<p>グループホームにおいては、地震や火事などの危機管理が心配である。そのため、ガスコンロではなく電磁調理器が使えるといい。また、緊急時に最寄の関係機関に通報できる仕組みがあったらいい。</p> <p>避難梯子、消火器、火災通報装置、煙感知器、熱感知器、防災カーテン、警報機などの設備整備への補助を希望する。</p> <p>利用者が共有する備品(食器棚、冷蔵庫、テレビ、冷暖房機器等)について、利用者の負担軽減のため助成をお願いする。</p> <p>補助率は高率(3 / 4程度)を希望する。</p>	<p>知的障害者グループホーム支援事業</p> <p>(安全対策費・初度備品購入等について)</p> <p>皆さまからのご意見を踏まえ、知事査定で、グループホームの設置促進を図り、知的障害者の地域での安全・安心な生活を支援するため、スプリンクラーや火災報知器等に加え、ガス器具から電気器具への転換も対象とする予定です。</p> <p>また、備品購入費については、利用者が共同生活用として利用する冷蔵庫等の電化製品についても対象に入れました。</p> <p>(補助率について)</p> <p>担当部からの要求は補助率1 / 2でしたが、ご意見を受け、グループホームの利用者および設置者を支援する観点から、補助率を3 / 4とします。</p> <p>以上の結果、予算額を10,750千円から16,125千円に増額しました。</p>	<p>(千円)</p> <p>16,125 10,750</p>

「福井元気宣言」予算への県民の皆さまのご意見について（要旨と対応）

項 目	担当部局	県民の皆さまからのご意見（要旨）	知事から県民の皆さまへ	最終予算額
安全・安心な県民生活の実現	県民生活部 警察本部	<p>地域治安対策に当たっては、地域の人の常日頃の交流が重要であり、そのための拠点を設置し、各地域の連携を強化することにより、安心して暮らせる地域づくりの推進を提案する。</p> <p>安全で安心なまちづくり推進のための条例制定に当たり、次のとおり考える。</p> <p>県条例を制定後、市町村条例として運営要領を定めた方が実効性が高まると思う。県条例が実効性あるものとなり、年度内に施行できるように実行予算の計上も必要と考える。</p> <p>基本条例を県で一本化しておけば、当事者間での協議が簡素化されメリットが大きい。</p> <p>犯罪の発生を抑止するため、新たな取り組みとして、犯罪防止対策のマネジメント・サイクルを確立して、効果的に実施することが必要と考える。</p>	<p>安全・安心なまちづくりを考える懇話会（仮称）開催事業</p> <p>地域住民、学校、事業者、警察、行政等が一体となって犯罪の発生しにくいまちづくりを推進するための効果的な方策を検討し、それを実効あるものとするための条例等について検討する懇話会を開催します。</p> <p>条例については、パブリックコメントによる県民の皆さまや懇話会での様々な分野の方々のご意見を反映し、今年度中の制定を目指して取り組みます。</p> <p>併せて、条例制定後の実効ある運用を図るため、安全・安心を実現するための具体的な取組みを進めるとともに、県と市町村が円滑で効果的な連携を築くための体制づくり等について検討します。</p> <p>悪化する県内の治安を早急に回復するため、「福井治安回復プログラム」を策定し、防犯対策に取り組みます。</p>	<p>(千円) 500</p>

「福井元気宣言」予算への県民の皆さまのご意見について（要旨と対応）

項 目	担当部局	県民の皆さまからのご意見（要旨）	知事から県民の皆さまへ	最終予算額
安全・安心な県民生活の実現	警察本部	<p>臨時交番相談員については、見せる犯罪抑止の観点から、警察官に類似した服装での勤務がより望ましい。また、交番に駐車場を確保してミニパトカーを配置して欲しい。</p>	<p>臨時交番相談員配置事業</p> <p>今回配置する臨時交番相談員には、これまでの交番相談員と同様、県民から一目で分かるように、標章、腕章を装着します。</p> <p>現在、駐車場のない交番（40交番のうち33交番にはパトカーを配置済み）にはパトカーを配置できませんので、隣接する交番のパトカーを共同使用する等により対処しています。今後、交番の建替え時等にはパトカーの駐車場の確保について検討します。</p>	<p>(千円) 10,855</p>

「福井元気宣言」予算への県民の皆さまのご意見について（要旨と対応）

項 目	担当部局	県民の皆さまからのご意見（要旨）	知事から県民の皆さまへ	最終予算額
安全・安心な県民生活の実現	土 木 部 農林水産部	<p>急傾斜地等の見た目の危険箇所だけでなく、水が溜められている農業用ため池周辺も防災対策の対象にしてほしい。</p> <p>県民一人ひとりが住んでいる場所の危険度を認識してもらうため、行政側が土砂災害ハザードマップを作成し、提示するとともに、地元調査員が降雨量を測定し、町内会長等に連絡し、近隣住民に避難指示をする等の県民と行政の役割分担を提案する。</p>	<p>土砂災害防止支援システム整備事業</p> <p>今回の土砂災害防止支援システム整備事業は、土砂災害のおそれのある区域を指定し、土砂災害を未然に防止するとともに、警戒避難体制の整備により、住民の安全を確保することを目的とした事業です。</p> <p>農業用ため池については、地震や異常降雨等に備えて関係市町村・農林総合事務所等と連携した緊急連絡体制を整え、危険性が高いため池については、改修事業を行っています。さらに今後は、ため池の安全性等の点検を実施し、住民への情報提供等を検討したいと考えています。</p> <p>現在、ご意見のハザードマップに相当する「土砂災害学習マップ」による学習会を各地で開催し、地域の防災体制の強化を図っており、また、県民に警戒情報を提供する等行政と住民が連携・協働して土砂災害の防止を図っていきます。</p>	<p>(千円) 109,000</p>